

田市土 第 228 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

田辺市長 真砂 九郎



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平素は、当地域の道路整備の推進につきまして、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ご依頼のありました、今後の道路行政についての意見・提案を別紙のとおり提出いたしますので、よろしくお願いいたします。

記

- ① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など
- ②-1 地域の現状と抱える課題
- ②-2 地域の目指すべき将来像
- ③ 道路施策の重点事項

平成21年度から道路特定財源の一般財源化が閣議決定され、具体的な議論がされているところであるが、受益と負担のあり方や公平性の原則にのっとりた議論を願うとともに、「必要と判断される道路は着実に整備する」という政府の方針に基づき、財源などの情報を十分公開した国民各層の議論で、「真に必要な道路」が明確になることを望む。

1. 都市圏と地方部の格差の是正

道路整備については、一定の成果をあげている都市圏と比べ地方部においては、道路整備が大きく立ち遅れており、都市圏との格差を是正するため、地方の道路整備の促進と財源確保を要望する。

2. 生活者重視の視点に立った道路整備

都市圏に比べ交通手段を車に頼らざるを得ない地方部では、道路整備の遅れは、安全・安心な住民生活を確保するうえで最も重要なインフラ整備であるため、地域の実情に即した、生活者重視の視点に立った道路整備を要望する。

3. 防災対策としての道路整備

近い将来、発生すると言われている東海・東南海・南海地震や異常気象による災害時には、集落の孤立を招くことにもなるため、防災対策として道路を整備することが、住民が安心して生活できる、まさに「命の道」となりうるものであり、防災対策としての道路整備が重要である。

4. 道路整備の評価

地方部においては、通常のコスト対効果や交通量だけでは、道路整備の評価はできないため、広域的な考え方で議論し、道路整備を図るとともに経済面など、幅広い事業評価を望む。

②-1 地域の現状と抱える課題

和歌山県田辺市

○現状

田辺市は、平成17年に1市2町2村の市町村合併により、1,026平方キロと広大な面積を有する市となり、その約90パーセントが山林を占めている。

市内の道路網は、国道及び県道で地域間を結んでいるが、災害時に迂回する幹線主要道路がなく、交通の確保に苦慮しているのが現状である。

また、市街地における幹線道路である国道42号については、通過交通と地域交通の両方が流入するため、市街地への道路との分岐点を中心に交通混雑が慢性化している。

○課題

地域間を結ぶ幹線主要国道や主要県道の早期整備が望まれているため、市街地域と周辺地域を連携する地域間道路ネットワークの構築が大変重要な課題となっている。

中でも近畿自動車道紀勢線の整備とともに交通混雑が生じている国道42号の渋滞緩和と災害時や近い将来発生が予想されている、東南海・南海地震への対策として、国道42号田辺西バイパスの早期完成が望まれている。

また、市街地における道路網の幹線である、都市計画道路は、都市づくりの骨格となるものであり、都市計画街路事業の整備をさらに進めていく必要がある。

さらに、山間地域においても、国道311号や国道168号などの唯一の主要国道、県道の早期改良が課題となっている。

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

和歌山県田辺市

1. 道路網の整備

①高速自動車道路の整備促進

○近畿自動車道紀勢線の整備促進。

②地域間幹線道路の整備

○高速道路南紀田辺インターチェンジと市内各地域の連絡道路となる国道42号や田辺西バイパスの早期完成。

○地域高規格道路である国道168号の整備促進と国道311号をはじめ、市内各地域を結ぶ国道及び主要幹線道路の整備促進。

○中心市街地の都市基盤向上を図るため、都市計画道路の整備を図る。

○中心市街地と山間地域を結ぶ主要道路の実現に向け、県との連携を強化し、整備促進に努める。

③生活道路の整備

○地域内の生活道路の利便性を確保するための道路整備や交通安全施設整備など、効率的な整備を図る。

2. 交通体系の確立を図る

①生活交通体系の整備

○住民生活に必要な路線バスの運行維持。

○路線バスや住民バス、スクールバスとともに、高齢者の外出支援事業、診療所の送迎事業などを含めた公共交通体系の総合的な再構築。

○NPOなどが実施するボランティア有償運送事業の導入を推進。

②公共交通の利便性向上

○沿線の各市町村と連携し、JR紀勢本線の利用促進に努めるとともに紀伊田辺駅のバリアフリー化等について、関係機関と共に取り組む。

○県や周辺市町村と連携し、南紀白浜空港の利用促進と観光を中心とした産業振興に取り組む。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

和歌山県田辺市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	高速自動車道路近畿自動車道紀勢線の南部インター～南紀田辺インターの開通	高速道路の開通により、交通量が計画よりはるかに増加しているとともに扇ヶ浜海水浴場の海水浴客数が増加 【海水浴客数】 平成19年度 46,353人 平成20年度 61,181人 京阪神からの時間短縮により、物流等産業振興にも大きな効果がある	
・都市交通の快適性、利便性の向上	県道田辺龍神線(海蔵寺地区)の整備	市街地を横断する、本路線を整備することにより、市内の通行の利便性の向上及び中心市街地の活性化が図られる。	
・大規模な地震、火災に強い国土づくり	和歌山県を縦断する、国道168号及びその他幹線国道の整備	大規模災害時の緊急輸送道路としての役割を担うとともに、緊急車両の時間短縮にも大きな効果がある。	